

RCMSのご紹介



株式会社ディバータ
2018/12/5

この度は、貴社「Webサイト」CMS開発に向けて当社サービスのご紹介機会を頂き、誠にありがとうございます。

当社は、Webサイト構築プラットフォームである「RCMS」を開発、販売するメーカーであり、また実際にWebサイトの構築も手掛けております。RCMSは純国産CMSとして、既に3,000社以上の企業様に導入を頂いており、弊社が完全に1から開発を行っておりますので、機能拡張性に優れていると自負しております。

またここ最近では、一部上場企業様のコーポレートサイトや、サイトページ総数が5,000ページを超えるような大規模なサイトのコンテンツプラットフォームとしてRCMSを採用頂く機会が非常に増えてきており、求められる機能性のみならず、非機能要件となるセキュリティ、バックアップ、パフォーマンスも日々サービスレベルの向上に全社を挙げて取り組んでおります。

今回の「Webサイト」CMS開発の展開においては、弊社も是非前向きに取り組んでいきたい領域のお話しですので、ぜひご紹介内容をご一読の上、ご採用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年12月5日
株式会社ディバータ

株式会社ディバータ 会社案内

世の中の90%のWEBサイト構築はシステム化できる

私どもは、2005年からRCMSというWEBサイト構築プラットフォームの提供を主軸に事業を展開しています。

RCMSは「世の中の90%のWEBサイト構築はシステム化できる」という考えのもと設計されたWebサイト構築プラットフォーム (CMS) です。

様々なコンテンツをメタデータ化し、それらに関連させることで、これまでより簡単に高度なWEBサイトを構築することができます。

これからも先進的なWebサイト構築プラットフォームとして、CMSの枠を超えて進化し続けていきます。

Diverta

会社概要

商号	株式会社ディバータ
設立	平成17 (2005年) 年1月27日
資本金	73,043千円
社員数	53人 (2017年9月現在)
代表取締役	加藤 健太
所在地	東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ6階
電話番号 (FAX)	03-3267-3900 (03-3267-3863)
URL	[Corp] https://www.diverta.co.jp/ [Product] https://www.r-cms.jp/
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店
事業内容	RCMSの開発、販売 上記を利用したWebサイトの企画、構築、運営 Webを利用した新サービスの研究開発
プライバシーマーク	登録番号 21000371(04)
ISMS	認証登録番号 : J0316

沿革

2004年 7月	代表 加藤 健太が個人事業主として創業
2005年 1月	ディバータ 設立
2005年 12月	RCMS プロトタイプ提供開始
2006年 5月	RCMS β版リリース
2008年 1月	RCMS 携帯版リリース
2008年 6月	独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の中小企業経営革新ベンチャー支援事業に採択
2008年 12月	「WEBスクレイパー」リリース
2009年 3月	RCMS 正式版リリース
2009年 4月	プライバシーマーク取得
2011年 1月	Facebookアプリ作成サービス「RCMS On Social」リリース
2014年 1月	資本金を73,043千円に増資
2015年 9月	EC機能提供開始
2017年 4月	マーケティングオートメーション機能「identity」機能 提供開始
2018年 2月	ISMS (JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 2013)) 取得

主な実績

Our Performance

スポーツ系サイト、国連サイト、官公庁、公共系サイト等、実績多数 (計 3,000 社以上) ※発行サイト数10,000以上 (無料版含む)

■ ご提供先例 (順不同)



サイバーエージェント 様

(<https://www.cyberagent.co.jp/>)



日本ハム 様

(<http://www.bbqgo.jp/>)



マイナビ出版 様(マイナビBOOKS)

(<http://www.mynavi.jp/>)



国際熱帯木材機関 (ITTO) 様

(<http://www.itto.int/ja/>)



日本バレーボールリーグ機構 様

(<http://www.vleague.or.jp/>)



日本スポーツ企画出版社 様

(<http://www.soccerdigestweb.com/>)



ディップ 様

(<http://panda-kango.jp/>)



ゴルフダイジェスト・オンライン 様

(<http://dr.golfdigest.co.jp/>)

■ 受賞歴

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) の中小企業経営革新ベンチャー支援事業

第4回Mashup Awards (サン・マイクロシステムズ株式会社・株式会社リクルート主催) 【特別賞/ Business Idea賞】

ITトレンド CMS部門 2016年度年間問い合わせランキング 1 位



RCMSの特長

RCMS

とは、「**R**elational **C**ontents **M**anagement **S**ystem」の略です。

RCMSは様々なコンテンツをデータベース化（メタデータ化）して、それらを関連させることで、これまでより簡単に高度なWebサイトを構築するためのCMS（コンテンツマネジメントシステム）です。

通常のCMSでは、サイト構造に沿って必要な各コンテンツを作成してサイトを構築するのに対し、RCMSではデータベースに様々なコンテンツを蓄積していき、その中から出力先の媒体に必要な要素だけを切り出すことで、1つのソースから、様々な媒体を構成することが可能になります。



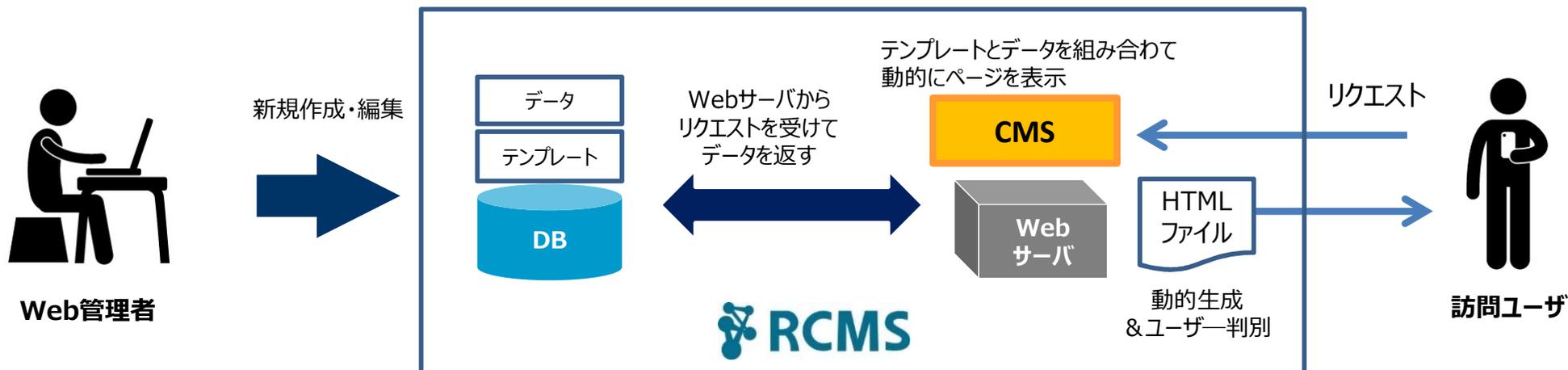
コンテンツは蓄積し、WEBサイトは進化させる

RCMSは「世の中の9割のWEBサイトはシステム化できる」をコンセプトに設計、構築されています

CMSには大きく分けて [動的配信型CMS] と [静的配信型CMS] がありますが、RCMSは **【動的配信型】** です。

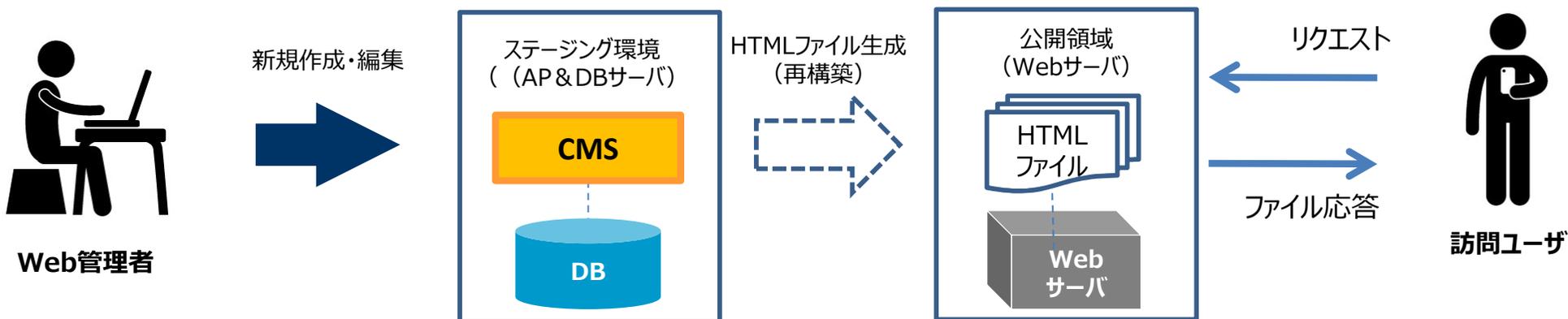
動的配信型CMS

リクエストに応じて必要なコンテンツをDBから呼び出し、リアルタイムにページを生成（動的生成）して配信する。



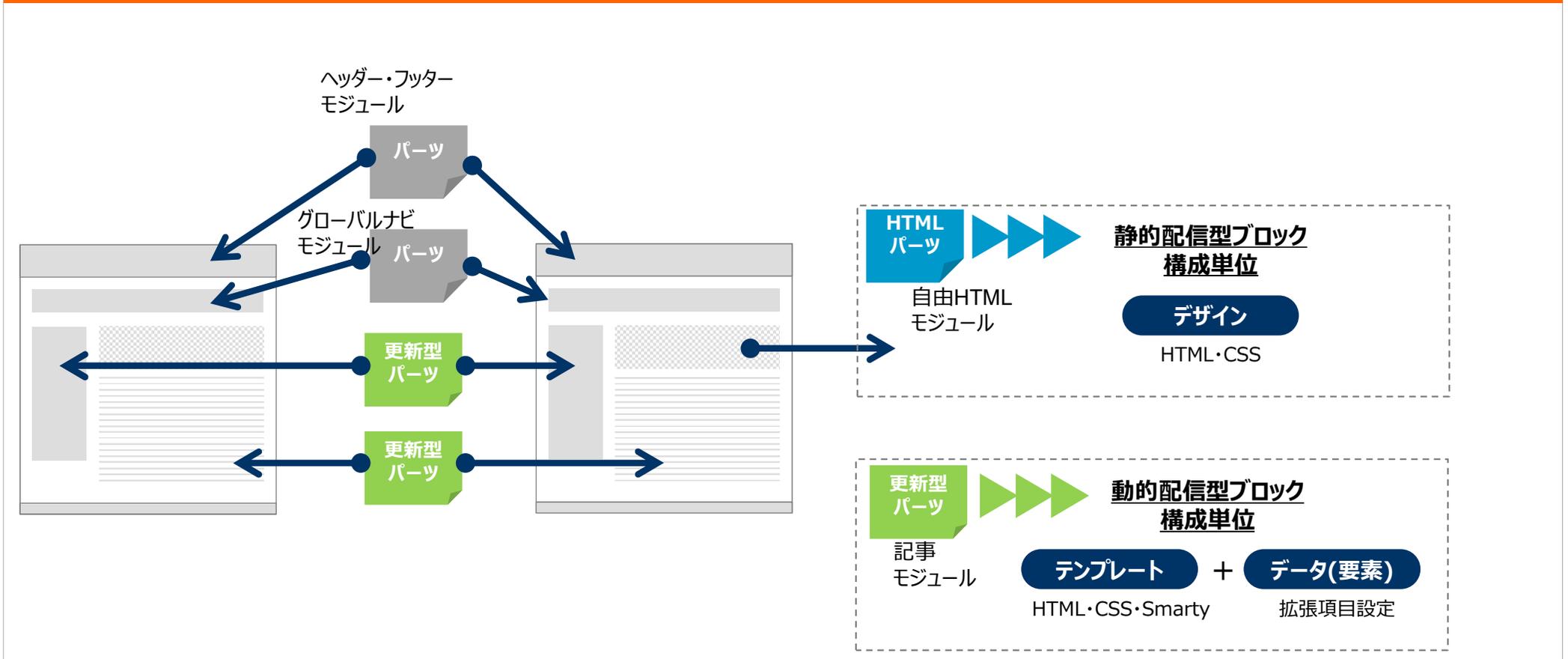
静的配信型CMS

静的配信型は、CMSでHTMLファイルを生成し、Webサーバ上でHTMLファイル表示を行う配信方法



RCMSはWebページを「パーツ化」して画面を構成しています。これによりWebサイト内でのパーツの再利用が簡単に行うことができ、極めて拡張性の高いWebサイト生成を実現しています。大きく更新コンテンツ管理型パーツ と HTML設置型パーツに分かれます。

RCMS = モジュール（機能）単位でパーツを組み上げページ生成



同じコンテンツの修正であれば、管理画面からそのデータを修正することでサイト全体のページにその修正が自動反映されます

今回のWebサイトリニューアルにおけるCMSは当社の『RCMS』による導入をご提案させていただきます。
RCMSは『あらゆる要望に応えるWEBサイト構築プラットフォーム』として現在**累計導入社数3,000社以上**であり
商用CMSでは最大級の利用実績です。

1 豊富な標準機能と充実の管理機能

250以上の標準機能と運用者別のメニューなど充実の管理機能を標準装備。
多様なサイト構築を容易にします。



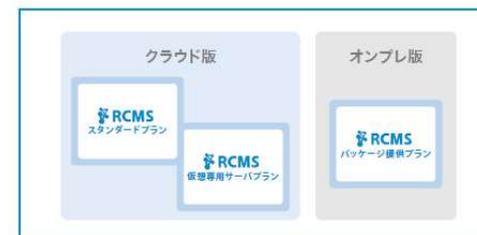
2 柔軟性の高いAPI・データ連携

RCMSは外部システムやクラウドサービスなど外部連携も積極的に取り入れており、
サイトとしての高い拡張性とサイトの対応幅を広げることができます。



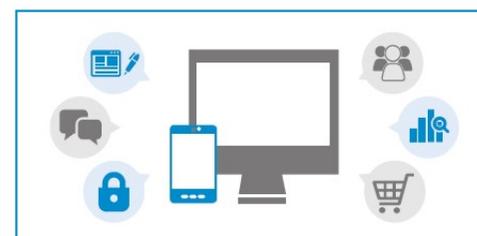
3 目的やご予算に応じて選べるCMSプラン

共有サーバ、専有サーバ、ライセンス購入による自社サーバーなど利用環境は
選べるラインナップと圧倒的なコストパフォーマンスでご提供します。



4 純国産CMSで安心のセキュリティ・充実サポート

RCMSはディバータが全て開発したソフトウェアですので、
カスタマイズ機能も含めてサポート体制は万全です。



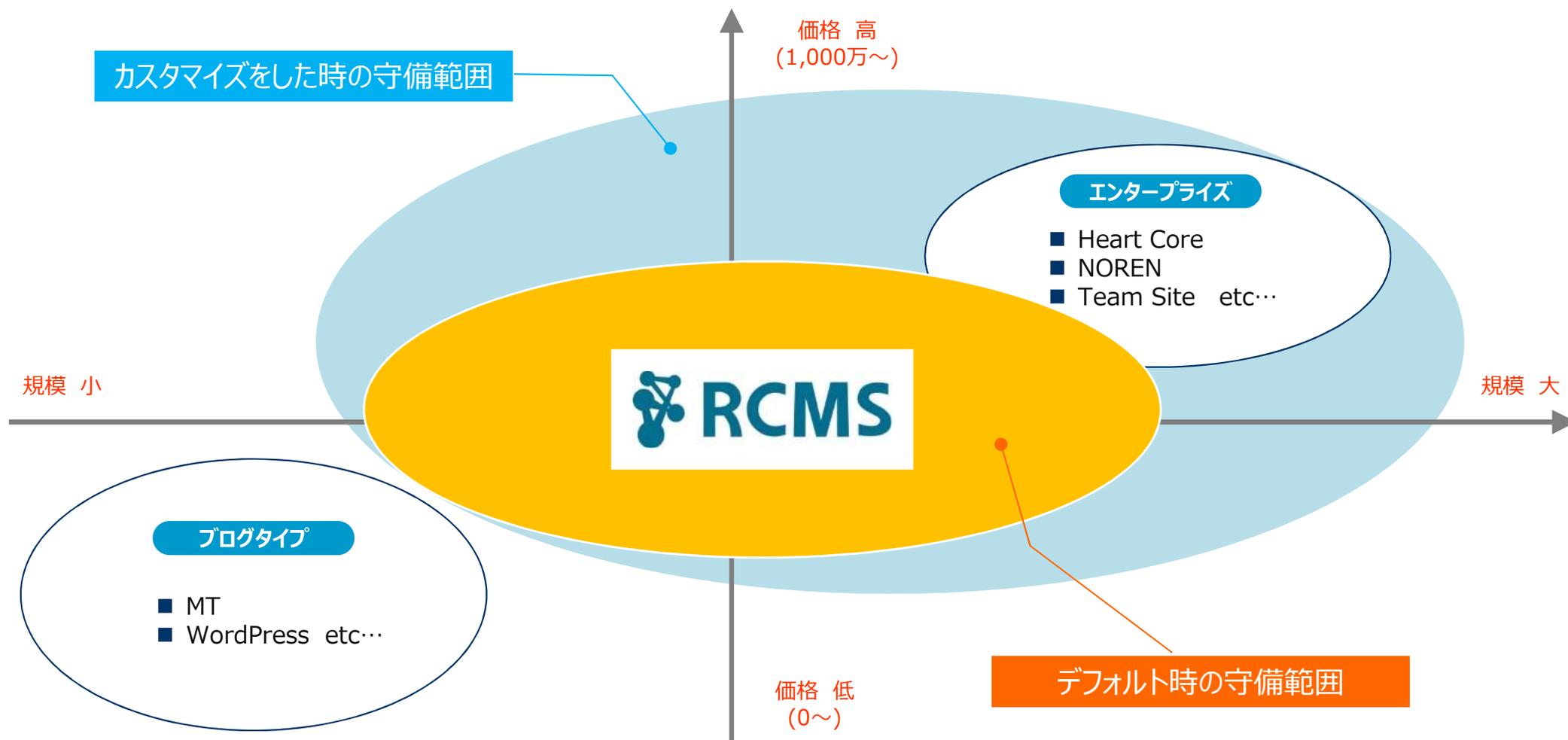
CMS機能比較

当社クライアントのゴルフダイジェストオンライン（以下GDO）様よりさまざまな角度からの比較にて『断トツ』の評価を頂きました。
CMSメーカーでもありながら、実装まで行うので、他社と比べても圧倒的なCMS構築コストと開発スピードの向上が可能です。

比較検討表（概要） GDO

	自社CMS流用	他ベンダー スクラッチ	オープンソース CMS	RCMS
開発費	高い	高い	安い	安い
開発期間	長い	長い	普通	断トツ
社内SYS稼働	大変	普通	大変	断トツ
セキュリティ	心配	安心	心配	安心
ベンダー	オフショア	国内	オフショア	国内
その他（良）	連携性・拡張性 コミュニケーション	連携性・拡張性	コミュニケーション	可用性
その他（悪）			要勉強	連携性・拡張性

『RCMS』は3,000社以上が利用する、多言語・マルチデバイスに対応する国産CMSです。低価格な開発コストと多機能を実現し、中規模サイトはもとよりカスタマイズを実施すれば大規模サイトにも対応が可能です。



デフォルトでは中規模。カスタマイズを実施すれば大規模サイトの開発が可能なCMSです

これまでアウトバウンド無しで、ほぼネット経由のインバウンドのみで下記導入社数を実現



これまでの経験から、ディバータのCMSにはサイト構築のノウハウが詰まっています

RCMSは多くの企業様のコーポレートサイトでもご利用頂いているクラウドサービスです。最近ではセキュリティレベルをクリアしての金融機関での利用と、国産CMSの強みであるサポートの速さと細やかさで上場企業、官公庁関連のWebサイトでもRCMSを採用頂いております。

RCMS 導入実績

一部企業抜粋

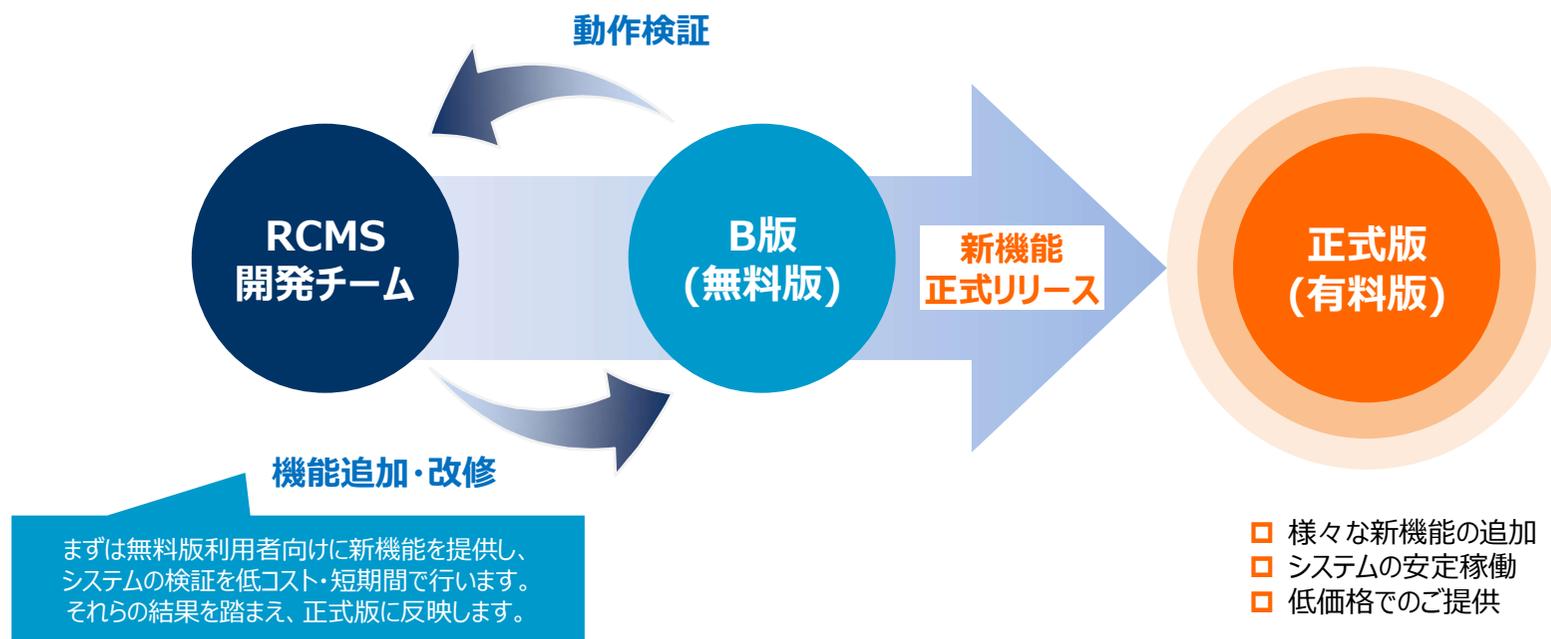
導入企業名	業界	サイト種別	RCMS利用プラン
株式会社サイバーエージェント	一部上場	コーポレートサイト	オンプレミス提供プラン
DMG森精機株式会社	一部上場	コーポレートサイト&会員制サイト	オンプレミス提供プラン
横河レンタ・リース株式会社	一部上場	コーポレートサイト、レンタル機器管理サイト 他	オンプレミス提供プラン
株式会社ガステック	未上場	コーポレートサイト	オンプレミス提供プラン
清水建設株式会社	一部上場	イントラサイト	オンプレミス提供プラン
大手メガバンク	一部上場	サテライトサイト	オンプレミス提供プラン
株式会社マイナビ出版[マイナビBOOKS]	未上場	ECサイト	オンプレミス提供プラン
日本ハム株式会社	一部上場	コーポレートサイト&オウンドメディア	オンプレミス提供プラン・仮想専用サーバプラン
株式会社オプト	一部上場	コーポレートサイト	仮想専用サーバプラン
株式会社NTTデータウェブ	未上場	コーポレートサイト	仮想専用サーバプラン
キヤノンITソリューションズ株式会社	一部上場	コーポレートサイト	仮想専用サーバ カスタムプラン
株式会社東陽テクニカ	一部上場	コーポレート&製品PRサイト&会員制サイト	仮想専用サーバ カスタムプラン
株式会社日経リサーチ	非上場	コーポレートサイト&オウンドメディア	仮想専用サーバプラン
大手信用金庫	一部上場	会員サイト	スタンダードプラン
学校法人國學院大學[博物館]	文教	ポータルサイト	スタンダードプラン
株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン(GDO)	一部上場	ECサイト	スタンダードプラン
株式会社ヴァリュース	未上場	コーポレートサイト	スタンダードプラン
ポーターズ株式会社	未上場	商品紹介サイト	スタンダードプラン
株式会社サンブリッジ	未上場	コーポレートサイト	スタンダードプラン
株式会社ワンゴジュウゴ	未上場	コーポレートサイト	スタンダードプラン
株式会社キッツマイクロフィルター	一部上場	コーポレートサイト&製品PRサイト	スタンダードプラン
国連熱帯森林機構(ITTO)	特殊法人	コーポレートサイト	スタンダードプラン

RCMSにはβ版（無料提供版）と正式版（有料提供版）があります。

β版には独自ドメインを使えない点とファイル容量やメルマガ利用の不可などサーバに負荷がかかる部分以外は正式版とほぼ同じ機能を提供しています。

1万人以上のβ版利用者との共同検証を確立

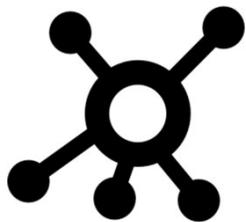
RCMSは2005年の提供開始当初から国内で自社開発を続け、β版を無料で提供することで1万人以上のβ版利用者の方と共同で検証する方法を確立しています。RCMSは様々な用途で利用され、様々な設定が可能で、開発元で全てのパターンをテスト・検証することは多大なコストと時間がかかってしまいます。これをβ版利用者の方たちと一緒にテスト・検証することで、開発コストの低減と開発スピードの短縮を実現しました。このようにオープンソース開発に近い開発モデルを採用することで、低コストで高機能なCMSを実現しています。



オープンソース開発に近い開発モデルを採用することで、低コストで高機能なCMSを提供可能です

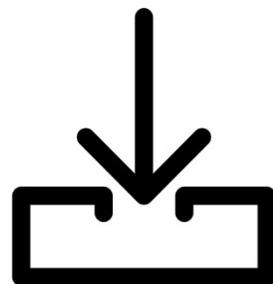
■コンテンツ作成

入力フィールド自由設定



テキストやチェックボックス、ファイル添付など自由に設定

コンテンツ一括登録・更新



csvファイルにて一括でダウンロード/アップロード

時間指定公開・終了



30分単位でコンテンツの公開・終了指定

多言語コンテンツ作成



同一の管理画面から入稿して効率的な運用が可能

■コミュニケーション管理

問い合わせフォーム作成



フォームの作成/履歴確認/サンクスメールの自動送信

アンケート作成・集計



自由に設問を設定したアンケートが作成でき、管理画面で集計結果表示

メールマガジン発行



メールマガジンの作成/配信

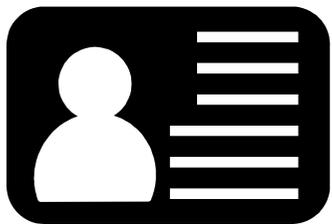
コメント・掲示板



書き込みの管理や、承認制の掲示板、特定のユーザー向けの掲示板を設置

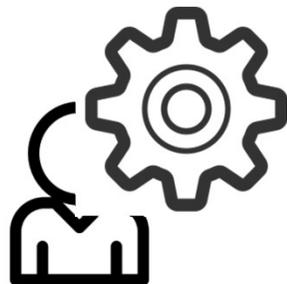
■ メンバー管理

ID・パスワード発行



ログインするためのID/パスワードを管理

マイページ機能



フロント画面からの更新/項目の自由な設定

操作権限設定



管理画面で作成/更新できるコンテンツの指定

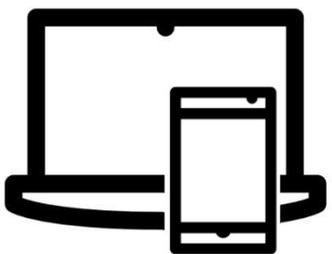
閲覧権限設定



フロント画面から権限に基づいて閲覧できるページを指定

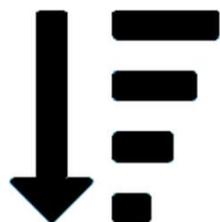
■ その他

マルチデバイス対応



PC/スマートフォン/タブレットでの表示切替

多段階承認ワークフロー



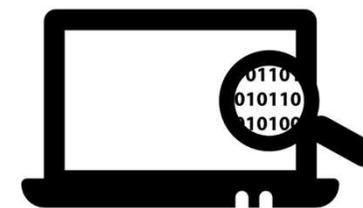
複数回の承認者への回覧、申請メールの自動送信

E C 機能



在庫管理、売上管理、決済機能

検索機能



範囲指定検索、フリーワード検索

RCMS無料β版のご案内

◇ **RCMSサービス紹介サイト** <https://www.r-cms.jp/>: 無料β版サイト <https://www.r-cms.jp/regist/beta-free/>

RCMSでは、β版環境を無料提供しております。

β版環境では下記項目の機能を試用いただくことができます。

[1] 記事 (ニュースリリース) の登録

- ・記事の登録 (入力フォーマット)
- ・記事の「版」管理
- ・公開設定、ワークフロー
- ・その他の設定、関連するタグ
- ・CSVダウンロード / アップロード
- ・ディレクトリ制限 (ページ構成)
- ・カスタマイズ開発例
- ・レスポンシブデザイン

[2] 多言語の仕組み

- ・管理画面
- ・記事の登録

[3] メンバー、グループ

- ・権限設定
- ・管理画面ログイン履歴

[4] 検索関連

- ・管理画面

RCMSのオプション・カスタマイズ

RCMSは外部DBとのデータ連携、API連携を行うことを前提として作られているクラウドサービスです。RCMS自体がHubとなり、データAPIの提供なども行っています。今後の展開で貴社のDBとのデータ連携などのカスタマイズにもご対応可能です。

システム間連携

- CSV、XML、JSON連携
- 決済サービスとのデータ連携
- LDAP (AD) 連携
- 外部システムとのデータ連携
- 翻訳システムとのデータ連携
- RSS出力連携

外部ASP・SaaSおよび商用サービスとのデータ連携実績 (抜粋)

SalesForce API連携	OpenID認証 (Yahoo)	個別仕様 (対象 : nifty)
KintoneAPI連携	OpenID認証 (Facebook)	個別仕様 (対象 : livedoor)
Synagy!API連携	OpenID認証 (Google+)	標準仕様 (対象 : excite)
Porters-HRBC API連携	FTP配信のRSS制御 (対象 : Yahoo)	標準仕様 (対象 : goo ビジネス)
CSVバッチ処理データ連携	FTP配信のRSS制御 (対象 : 朝日新聞デジタル)	標準仕様 (対象 : jcast)
XMLデータ連携	FTP配信のRSS制御 (対象 : ピーチクパーク)	標準仕様 (対象 : okguide)
indeed XMLfeed連携)	個別仕様 (対象 : gunosy)	標準仕様 (対象 : pia)
	個別仕様 (対象 : SmartNews)	標準仕様 (対象 : sony)
	個別仕様 (対象 : infoseek)	標準仕様 (対象 : オークファン)
	個別仕様 (対象 : antenna)	Facebook自動投稿機能
	個別仕様 (対象 : goo news)	Twitterの自動投稿機能
	個別仕様 (対象 : gree)	
	個別仕様 (対象 : mixi)	

外部ASP・SaaSおよび商用サービスとのデータ連携実績（抜粋）

製品名	社名	URL
セールスフォース・ドットコム	株式会社セールスフォース・ドットコム	https://www.salesforce.com/jp/
kintone	サイボウズ株式会社	https://kintone.cybozu.com/jp/
マーケティングプラットフォーム	株式会社シャノン	http://www.shanon.co.jp/
Pardot	株式会社セールスフォース・ドットコム	https://www.salesforce.com/jp/products/pardot/overview/
SATORI	SATORI株式会社	https://satori.marketing/
SPIRAL®	株式会社パイプドビッツ	https://www.pi-pe.co.jp/
Synergy!	シナジーマーケティング株式会社	https://www.synergy-marketing.co.jp/
SyncSearch	株式会社SyncThought	https://www.syncthought.com/
さぶみっと！レコメンド	株式会社イー・エージェンシー	https://recommend.submit.ne.jp/
IRポケット	株式会社マジカルポケット	http://mpocket.jp/
E-IR	株式会社プロネクサス	http://www.pronexus.co.jp/
ペイジェント	株式会社ペイジェント	https://www.paygent.co.jp/
Amazon Pay	アマゾン ジャパン合同会社	https://pay.amazon.com/jp/
F-REGI	株式会社エフレジ	https://www.f-regi.com/
VeriTrans4G	ベリトランス株式会社	https://www.veritrans.co.jp/
HRビジネスクラウド	ポーターズ株式会社	https://hrbc.porters.jp/
Cuenote	ユミルリンク株式会社	https://www.cuenote.jp/
ブレインメール	ブレイン株式会社	http://blaynmail.jp/
配信メール	株式会社ラクス	https://www.hai2mail.jp/
Scutum	株式会社セキユアスカイ・テクノロジー	https://www.scutum.jp/
Akamai	アカマイ・テクノロジーズ合同会社	https://www.akamai.com/jp/ja/
IJ GIOコンテンツアクセラレーションサービス	株式会社インターネットイニシアティブ	https://www.ij.ad.jp/biz/acceleration/
Amazon CloudFront	アマゾン ジャパン合同会社	https://aws.amazon.com/jp/cloudfront/

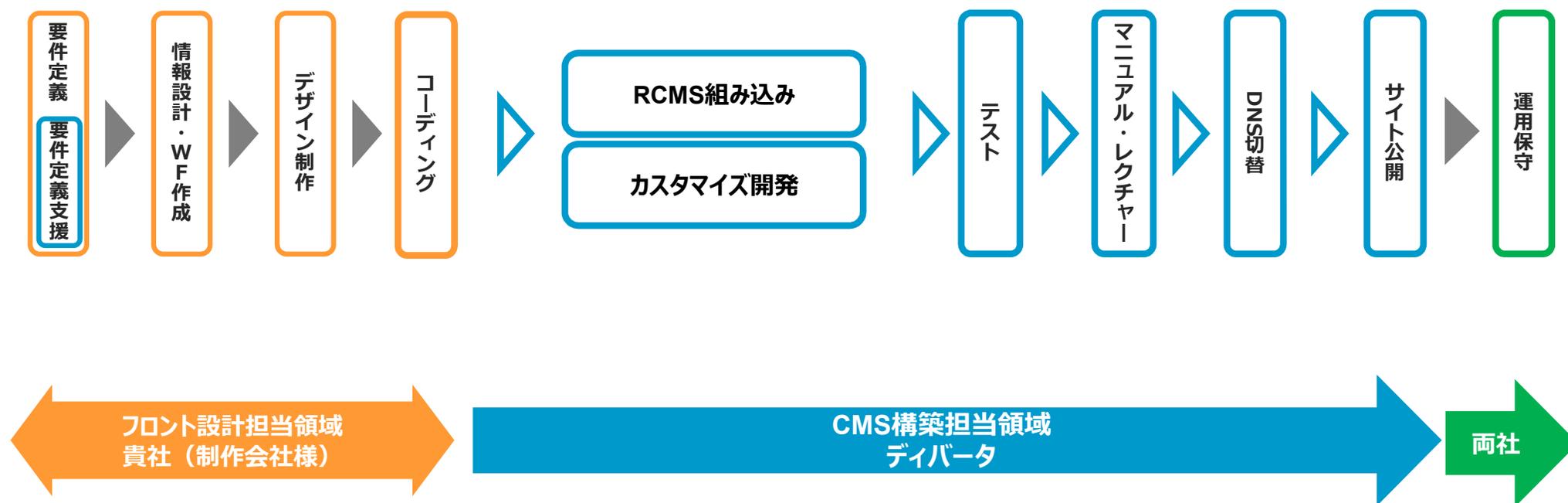
オプション（抜粋）

- ・ドメイン解除オプション
- ・CDNオプション
- ・FTPオプション
- ・記事syncオプション

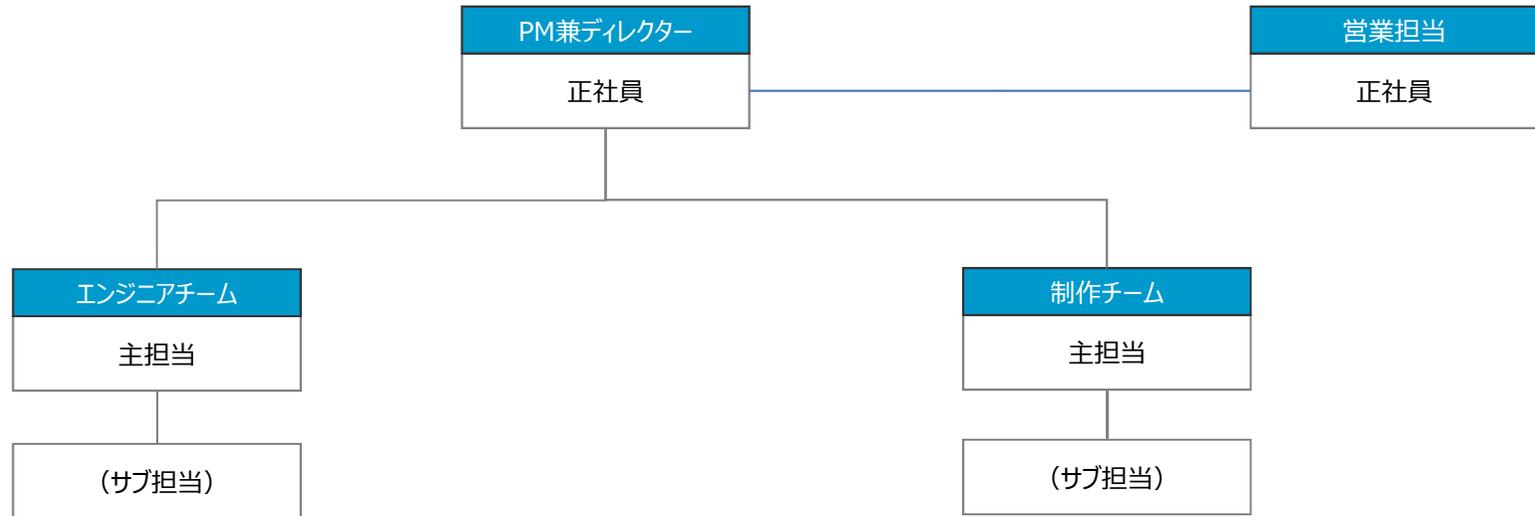
RCMS プロジェクトの進め方

当プロジェクトについては、主にフロント画面設計やデザインまでを御社のパートナー企業様に担当してもらい、例えば「CMS組み込み」以降の作業フェーズより当社が担当させて頂く協業型の遂行を想定しております。弊社ではこの進め方は頻繁に実施しておりますので、進め方のポイントやコミュニケーションの取り方も熟知しております。

CMSによるサイト制作の基本的手順



ディバータ社内体制



PM兼ディレクター	当プロジェクトの全体責任者が本件ディレクターを担当。お客様（あるいは制作会社様）との連携などもディレクターが行います。
デザインチーム	コーディングからCMS組込みなど主にテンプレート制作部分を担当いたします。
エンジニアチーム	RCMSのパッケージ開発の開発、インフラ周りの開発（環境周りの設定、インストール等）、進捗等を管理します。
営業チーム	契約関連や見積金額、またリソース状況、お客様との関係性構築を行います。

当社が司令塔となってプロジェクトコントロールします。各フェーズが切り替わる繋ぎの局面には特にコミュニケーションロスが発生しないよう、プロジェクトを推進していきます

- プロジェクト管理は以下の要領で執り行います。
- スコープ、体制、スケジュール、コストをベースとして、「進捗」、「品質」、「課題・リスク」、「変更」、「成果物」、「コミュニケーション」を管理し、プロジェクトを推進していきます。短期間での開発となるので、管理手法は一部Webツール等を使用し、効率的に行っていきたく考えています。

進捗管理について

管理ドキュメント WBS、進捗報告書 = backlog

原則、全工程を通して、WBSとBacklogを使用し、プロジェクトの進捗管理、報告を行っていく想定です。

会議ではプロジェクトラーをご用意頂き、Backlogを投影しながら優先順位の高い事項や会議により決定しなければならない事項をピックアップして遂行します。

対面での定例会議の設定はスケジュール策定時にご相談させていただきます。定例MTGについては概ね2時間を想定。（通常はWeb会議にて実施の想定）

課題管理について

管理ドキュメント 課題管理表、(backlog)

課題管理表を使用し、課題を管理する。Backlogを使用する想定。

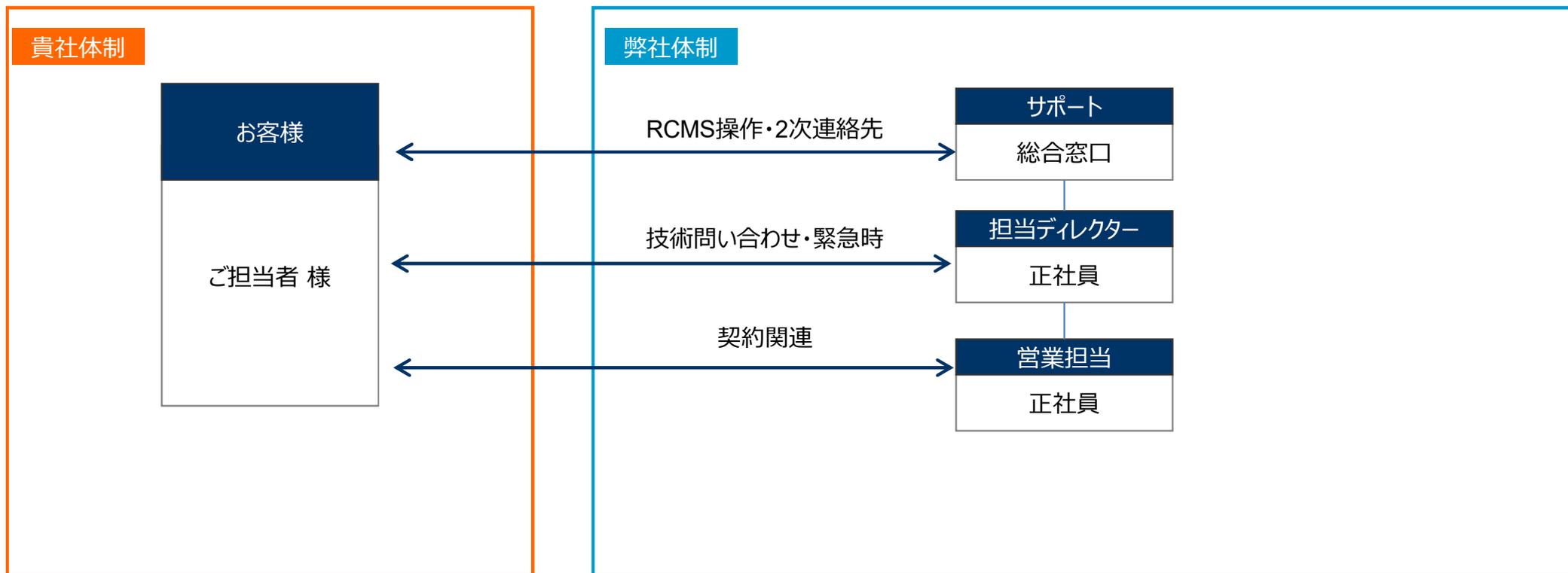
コミュニケーション管理について

管理ドキュメント WBS、backlog

以下の会議帯を定例会として開催する。また随時Backlogにて課題や質問点についてはやり取りを行いエビデンスを残す形を取る。

会議名	目的	頻度	会議内容	出席者	資料
進捗会議	情報伝達 問題解決	設計フェーズ 週次 制作フェーズ 隔週	<ul style="list-style-type: none"> PMレベルでの状況確認 プロジェクトの全体状況（進捗、品質、課題）確認 課題・リスクに対する対応協議と意思決定 	ディバータ ディレクター（必要に応じて関係者） お客様 プロジェクト関係者様	<ul style="list-style-type: none"> Backlog 必要に応じて資料

RCMS サイト公開後のCMS運用



サポート	保守・運用開始後のサイト固有の問い合わせを担当します。また緊急時には直接ご連絡を受付けます。
担当ディレクター（有償）	緊急時以外のRCMSに関する操作や技術的な問い合わせ窓口です。また、営業・ディレクターが不在の場合の2次連絡先です。
営業担当	契約、費用等の管理をする。

リリース後は、スムーズに維持管理ができるように、上記体制にて支援します

RCMSの継続利用料にはインフラ利用料とCMS本体保守に関する費用も含んでおります。
通常、自社システムで運営する場合には下記に挙げる作業や対策をシステム担当者や外部パートナーに作業依頼を行う必要があります。
ここに挙げている作業項目は見落とされがちな見積項目であり、CMS導入選定の際には考慮すべき内容です。

■ CMS保守作業

1. RCMS保守

- ・アプリケーションの障害対応
- ・アプリケーション不具合の改修
- ・バージョンアップ対応
(※RCMSのバージョンアップ時の個々の動作検証テストは含まれません。)

2. インフラの保守

- ・インフラ (AWS) の障害対応
- ・OS、ミドルウェアのセキュリティアップデート

■ インフラ運用作業

1. リアルタイム監視について

- (1) 死活監視 | ハードウェアやネットワークの運転状況
- (2) 性能監視 | レスポンスタイム
- (3) 資源監視 | メモリ、CPU、ディスクの状態
- (4) 異常監視 | アプリケーション稼働状況

※RCMS上で構築したWebサイトを形成するHTMLソース、CSSなどプログラム動作保証はサポート対象外です。

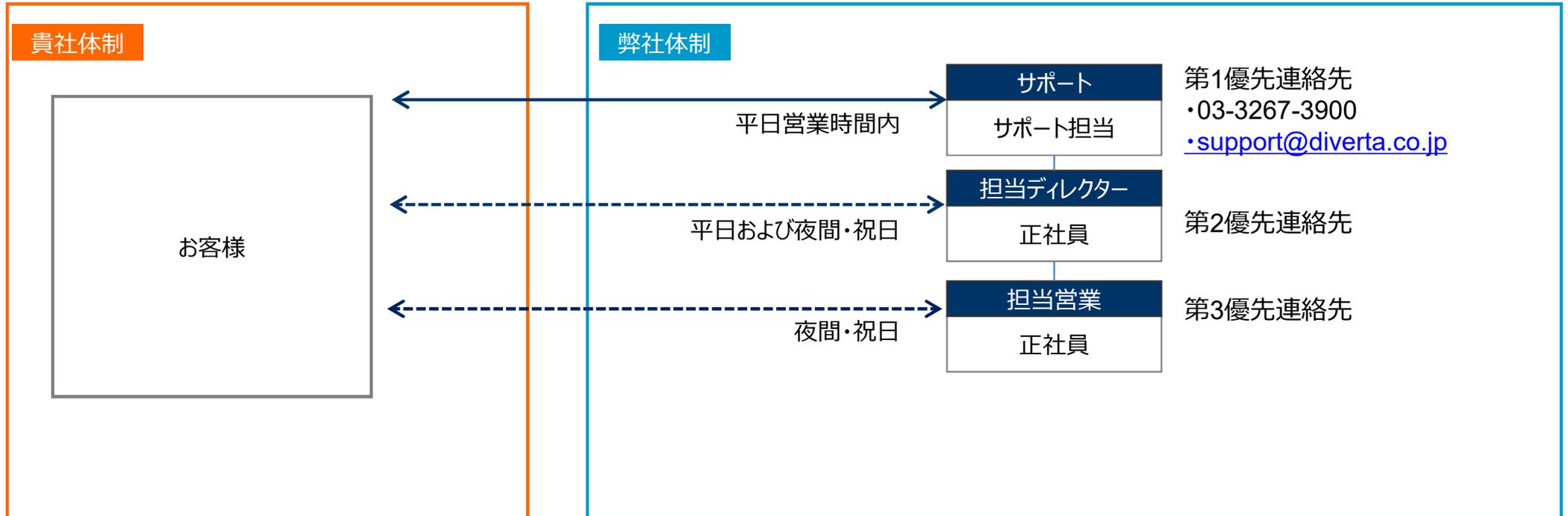
■ RCMSのSLA保証

RCMSはサービス品質保証制度 (SLA) を定めているクラウドサービスです。
サーバーの高稼働率を保証し、万一のサーバー障害などで高稼働率を維持できない場合、
一定の割合で利用料金を返金する品質保証制度でもあります。有償版RCMSで構築したサイトにおいては、
1ヶ月あたり99.9%のSLA保証を設定しております。(31日×24時間×99.9%の稼働を保証)

RCMS利用料の範囲	Webサイト有償保守サポートの範囲	項目	サポート内容
○		RCMS利用料	RCMSを利用する場合の利用料
○		RCMSソフトウェアサポート	RCMS（ソフトウェア）についての、技術的な問い合わせ対応
○			本プログラムに瑕疵が発見された場合の無償改修
○			セキュリティアップデート
○			インフラ障害時対応（原因調査等）サポート
○			ブラウザ・OSバージョンアップ対応（管理画面のみ）サポート
○		お問い合わせ対応	RCMSの管理画面操作に関連するお問い合わせ対応
	○	エラーや不具合時の切り分け対応	エラーや不具合内容を確認し、RCMSの瑕疵によるものか、それ以外かを判断し、瑕疵の場合は無償修正、それ以外の場合は解決策の提示までを行います。 （※解決策の提示において有償対応となる場合もございますので予めご了承下さい。）
	○	軽微な修正作業（※）	テンプレート編集などRCMS内に設定したソースコードを修正する場合の作業。 ※サポートプランによって実施する場合は有償対応となります。
	○	レポート作業（※）	月次など定期的な「作業対応報告」などのレポート提出。 ※サポートプランによって実施する場合は有償対応となります。

■ サービス詳細

- ・サポート対象日 : 平日の営業日 ※土日祝日、当社指定休業日にご連絡を頂いた場合は翌営業日以降の対応となります。
- ・サポート時間 : 11時～18時30分 ※18時以降にご連絡を頂いた場合は翌営業日以降の対応となります。（10時～11時はベストエフォート対応）
- ・サポート体制 : Webサイト保守サポートについては貴社の専任ディレクターが配置され、直接の電話、メールによるサポートが受けられます。その他については、弊社のサポートセンター経由での対応となります。
- ・サポート方法 : 電話、メールによる対応となります。必要に応じて訪問してのオンサイトサポートやSSHによる遠隔操作サポートとなります。

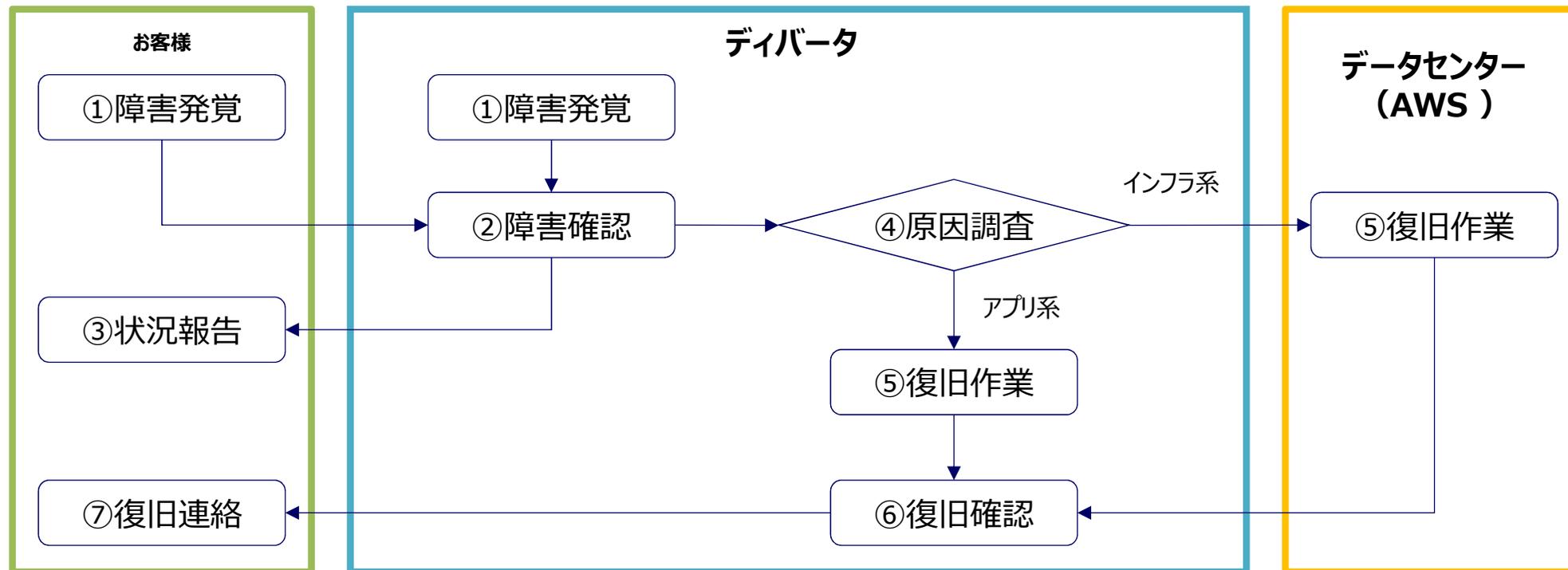


優先順による対応の流れ

<p>サポート</p>	<p>サポートを行う時間帯は、緊急時を除き月曜～金曜11:00～18:30（祝祭日、年末年始、当社指定休業日は除く）です。営業時間内であればサポートにお電話およびメールを頂くことでエンジニアチームに至急対応を依頼し、かつ担当ディレクターとも連携し、最速な障害対応が行えます。貴社の確認が必要な事項など以降は担当ディレクターとのやり取りとなります。一次連絡先をサポートにする理由としては、担当ディレクターが商談中など直ぐに連絡が取れないケースがあり、それを防ぐためです。</p>
<p>担当ディレクター（有償）</p>	<p>営業時間外においての一次連絡先となります。またこの際にサポートメールにもお送り頂くと更にスムーズです。（社内閲覧者が多数いるため、社内連携が取れやすくなります。）</p>
<p>担当営業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート、ディレクター共に連絡が取れない場合の3次連絡先となります。 ・障害や不具合の発生時の最終報告は担当営業より責任を持って行います。

■ 障害発生時の切り分け及び対応

システムに障害が発生した場合には、下記のフローにて対応・復旧作業を行います。



- ①障害発覚： 障害発見時には障害状況の報告。
- ②障害確認： 障害発見の報告後、早急に現象の確認を実施。
- ③状況報告： 障害発見の確認後、早急に現象の報告を実施。
- ④原因調査： 緊急連絡と平行し、システム障害の発生している原因を特定するための調査を行う。また原因特定後、**復旧までに3時間を超えると予測できる場合には進捗を報告する。**
- ⑤復旧作業： システム障害の原因の特定が完了し次第、復旧作業を開始する。システム障害原因によって、対応する部門を選定。
 - ネットワーク障害/ ハードウェア障害→データセンター（遠隔にて対応指示）
 - ソフトウェア障害→お客様
- ⑥復旧確認： 復旧作業が完了し次第、システムの復旧確認を行う。
- ⑦復旧連絡： システムの復旧確認後、復旧連絡を行う。

RCMS 参考情報

RCMSには250種類以上の機能があります。通常では、カスタマイズをしなければいけないような機能や、細かい機能が標準的に備わっています。

サイト管理機能

ページ設定、サイトパラメータ設定、更新履歴、バッチ処理設定、QRコード自動生成、バナー広告、ベーシック認証、アクセス制限、etc

メンバー管理機能

会員管理、権限管理、ログイン履歴、ワンタイムURL発行、メンバー情報一括アップロード、メンバー解析、etc

コンテンツ管理機能

ブログ、トピックス、写真、カレンダー、地図情報、動画、会社概要、沿革、採用情報、スポーツ情報、外部データ連携機能、簡易ショッピング、Q&A、用語辞典、etc

コミュニケーション機能

お問い合わせ管理、アンケート、掲示板、コメント受付、トラックバック、メールマガジン、Twitter連携、投票(記事のお役立ち度)、関連商品表示、etc

解析機能

GoogleAnalytics、アクセス解析、アンケート結果集計&グラフ表示、タグ埋め込み式解析ツールとの連携、etc

サイト向上機能

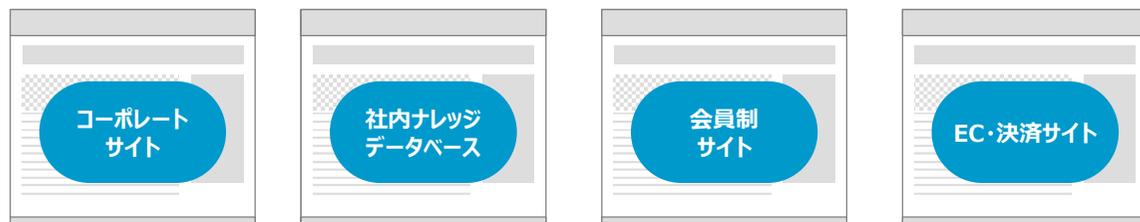
SEO、LPO、サイト紹介&集計、関連記事表示、投票、etc

その他機能

オンライン画像編集機能、RSSリーダー、ファイル管理、WYSIWYGエディタ、多段式承認ワークフロー、サイトマップ自動生成、ページコピー、目的別管理画面の表示、etc

機能数は250以上！様々な機能を組み合わせて多彩なサイト構築を実現します

RCMSでは基本的な入力フィールドのほか、更新したい記事の構成に応じて様々な形式の入力フィールドを追加し、**オリジナルの入力画面**を作成することができます。



etc...

入力フィールド例 →

A screenshot of the RCMS article editing interface. The form includes the following fields and options:

- トピックスID: 10
- グループ名: セミナー&イベント情報
- 表示順: 0
- カテゴリ 必須: 構築
- カテゴリ2: 製品紹介
- カテゴリ3: Tips
- タイトル 必須: 第10回 ハンズオンセミナー タイトルのみ
- 都道府県: 東京都
- 路線: 東京外環南北線
- 駅: 市ヶ谷
- 有料/無料 必須: 有料 チケット制
- url:
- title:
- WYSIWYG 必須: 第10回 ハンズオンセミナーの情報はです。

RCMSなら複雑な構成の更新ページも作成可能
サイトの構築・運用の幅がひろがります。

RCMSでは基本的な入力フィールドのほか、更新したい記事の構成に応じて様々な形式の入力フィールドを追加したり、特定の項目を繰り返す設定をすることで**オリジナルの入力画面**を作成することができます。

拡張項目（入力フィールド）の設定

基本項目

- 日付・時間
- 本文
- カテゴリ
- 公開ステータス
- タイトル など

拡張項目

- テキスト形式
 - 複数選択形式
 - 画像
 - リンク
 - 地図
 - 都道府県
 - ファイル
 - Wysiwyg
- など、それぞれの項目を任意/必須の選択が可能

拡張項目の繰り返し設定

設定した拡張項目をグループ化し指定回数繰り返すことが可能です。



Pizza Diverta
東京都新宿区〇〇〇14-3-3
03-1111-1111
http://△△△△△△△△△△



CAFF Diverta
東京都港区〇〇〇14-3-3
03-2222-2222
http://△△△△△△△△△△



BAKERY Diverta
東京都港区〇〇〇14-3-3
03-2222-2222
http://△△△△△△△△△△

ID	親項目	項目名 注釈
01	② 選択なし▼を親項目にする 繰り返し回数: 1▼	項目名: 店名 注釈:
02	① 選択なし▼を親項目にする 店名 住所 電話番号 URL 電話番号 繰り返し回数: 1▼	項目名: 住所 注釈: 項目名: 電話番号
03	店名▼を親項目にする 繰り返し回数: 1▼	項目名: URL 注釈:
04	店名▼を親項目にする 繰り返し回数: 1▼	項目名: 注釈:

【設定方法】

- ①親項目を必ず入力するものにしてください。（例えば“見出し”や“店名”）
- ②親項目に繰り返しの回数を指定することで。最高30回までです。

RCMSなら複雑な構成の更新ページも作成可能。サイトの構築・運用の幅がひろがります。

RCMSは一般的な会員サイトやコミュニティサイトを構築するために必要な機能を一通り備えているので、それらのサイトも**短納期・低コストで構築可能**です。

会員機能 一例

- 新規会員登録/退会
- ログイン/ログアウト
- リマインダー（パスワード再発行）
- マイページ
- 会員登録情報項目設定
(メールアドレス、名前、生年月日、住所など必要な項目を追加可能)
- 会員表示計機能（一覧、検索機能）
- メールマガジン、掲示板などのコミュニケーション系機能の連動 など

グループ一覧		初期グループ設定				
ID	グループ名	基本設定	メンバー管理	ユーザー種別	管理画面	
✓ 101	有料会員	基本設定	メンバー管理(1)	ログインユーザー	通常版(高機能)	
✓ 2	編集権限	基本設定	メンバー管理(0)	コンテンツ編集ユーザ	簡易版	
✓ 1	管理者	基本設定	メンバー管理(1)	スーパーユーザー	通常版(高機能)	

RCMSはメンバーが所属するグループごとに細かく権限の調整などを行うことができ、コンテンツの出し分けなども容易に実現可能です。さらには関連づけ機能をあわせて利用することで、各ユーザーに関連づけされたコンテンツや機能をマイページに表示することなどもできます。

事例紹介 : 株式会社富士通マーケティング様

会員企業だけがログインできるサイトを短納期で構築

代理店向けの営業情報や提案資料のダウンロード提供、セミナー・イベント情報配信を会員企業だけがログイン、閲覧できる限定サイトをRCMSで構築。RCMSが得意とするメンバー管理機能と、代理店を階層グループに分けて、それぞれで閲覧できるページを切り替えるなど、通常では開発コストが掛かる仕組みをRCMSの標準機能により、短納期・低コストで実現しています。

RCMSには短納期・低コストでコミュニティサイトを構築した多数の実績があります

②個別カスタマイズ 一例

RCMSは標準で搭載されている機能250以上の機能のほかに、必要であれば個別のカスタマイズを行うことができます。個別カスタマイズの他に標準機能化を考えた折半開発（共同機能開発）があります。

カスタマイズについて

機能の追加（カスタマイズ）は開発元のディベータが行うので、オープンソースのCMS用プラグインを開発するのとは異なり、RCMS自体がアップデートをしても追加部分が動かなくなるなどの心配はありません。

折半開発について

著作権はディベータに帰属しますが、開発費は通常の半額で行います。標準化するために機能の仕様に関しては発注者の要望を取り入れながら、汎用性と使いやすさを考慮したものを開発します。

過去のカスタマイズ例 ※付は折半開発で標準機能となった機能

2013年実施例

- モバイルキャリア決済カスタマイズ
- 決済代行サービス連携
- 承認ワークフローの差し戻し機能※
- 記事紐づけ型の問い合わせフォーム | 記事タイトル引継
- メルマガ開封履歴取得機能※
- PDFファイル容量のフロント画面表示
- 最近見た記事の履歴表示機能
- お気に入り登録機能
- 簡易お気に入り登録機能 byCookie
- 範囲指定検索（上限下限指定検索）※
- 範囲内の特定項目を検索する機能 ※
- フリーワード×カテゴリの検索機能 ※
- 路線から検索機能
- メンバーモジュール郵便番号からの検索機能 ※
- フリーワード検索のサジェスト機能 | 候補リスト検索
- Facebookへの記事自動投稿機能 ※
- Twitterログイン
- Facebookログイン
- タブレット対応カスタマイズ ※
- ドメイン解除オプション
- RSS出力連携（MSN livedoor など）
- PDFファイル作成機能
- サイトURLパラメータ順番固定化
- フォームエラーチェックロジック開発
- Enterキー無効カスタマイズ
- メルマガ配信機能の送信者権限機能
- サイト内行動データログ取得
- マイページ表示/編集機能
- SSO（シングルサインオン）対応
- パンくずロジックカスタマイズ
- 数値集計&グラフ作成 | AMチャート

2014年実施例

- [ログイン情報表示] 前回ログイン時の日時を画面に表示する
- [路線検索]複数最寄り駅の設定で検索させる
- バックアップの復元（サイト単体のバックアップ復元）※
- RCMSロゴの差し替え ※
- ファイル全文検索のためのPDFテキスト自動抽出
- 検索結果件数を動的に表示する機能
- 記事一覧の拡張項目別ソート(昇順降順)機能 ※
- 地図検索機能
- 周辺距離検索機能
- 管理者が複数いる時の権限カスタマイズ
- 記事プレビューのワンタイムURL発行機能
- Facebookデータ取得
- タグ機能
- 問い合わせフォームへのファイル添付 ※
- レスポンスウェブデザイン対応 ※
- ECモジュール ※
- 副言語URLのカスタム
- 記事コンテンツにおける登録カテゴリ数拡張
- 記事グループの拡張項目追加（Max99プラン）
- 記事グループの拡張項目追加（Max50プラン）
- 記事コンテンツ同期配信
- kintone by サイボウズ連携
- SalesForce.com連携
- SPIRAL by Pipedbit連携：RCMS側で登録されたデータを連携
- MailPublisher連携
- メンバーの「拡張」項目数追加
- シングルサインオンカスタマイズ(RCMS内)
- Synergyログイン連携
- サイトプレビュー機能
- スマホキャリア決済カスタマイズ

2015年実施例

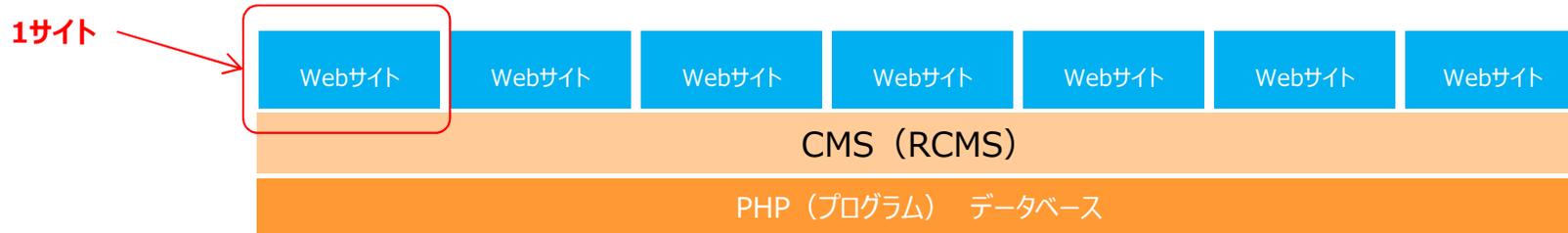
- 記事モジュール | タイトル文字数制限
- 複数資料(PDF)の一括DL
- YahooIDログイン連携
- 時間指定公開における自動キャッシュクリア機能 ※
- 検証環境（オンプレミス提供プラン）
- 検証環境（仮想専用サーバプラン）
- 検証環境（スタンダードプラン）
- spiral会員ログイン連携
- PubSubHubbub導入 ※
- Paypal連携
- メンバー毎のデフォルト言語設定
- 多言語言語追加
- Instagramモジュール(画像の一括自動取込み)
- GAの管理画面側にRCMSのID(会員ID)表示
- コンテンツダウンロード期間指定
- OpenIDカスタマイズ for ドコモID
- SMS認証機能カスタマイズ
- 記事一覧への各記事のPV数表示
- URL指定
- SNS連動サポート
- ページ構成階層追加オプション
- ドメイン解除オプション | 仮想専用サーバプラン用
- DB特定のカラムを暗号化
- リバースプロキシ設定支援
- 【多言語】副言語TOPヘリダイレクト
- Google Mapsルート検索
- 記事紐づけ型の問い合わせフォーム | 記事拡張項目引継
- 管理画面：記事モジュールの拡張項目（設定項目：日付）検索
- FTPサーバ提供 | 仮想専用プラン用
- 複数ユーザーによる同時編集の制限

③ インフラを自由に選択

RCMSは**クライアント様の環境に合わせて様々な形で利用することが可能**です。サーバ保守も完全委託のSaaS版スタンダードプラン、さらにそれらを仮想専用サーバにした仮想専用サーバプラン、自社サーバにインストール可能なオンプレミス提供プランと、要望にあわせて最適な環境をお選びください。

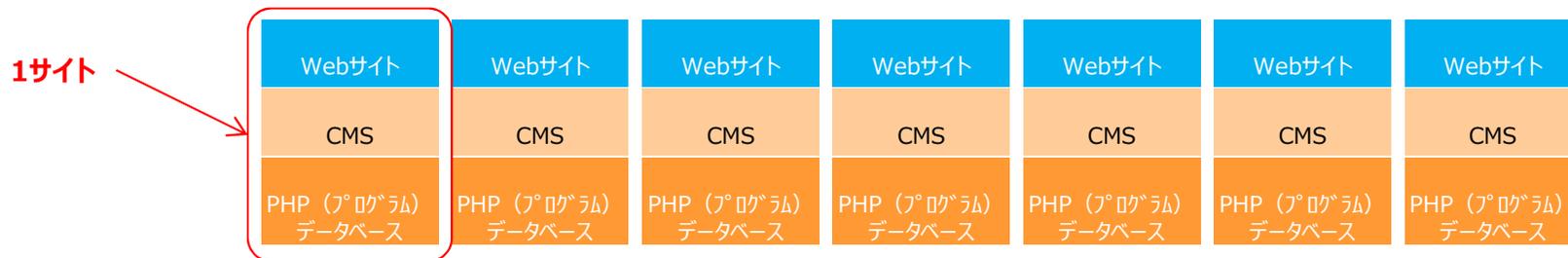
スタンダードプラン（SaaS版）

一括でサーバ、プログラム等が保守されている中の1環境をご提供いたします。



仮想専用サーバプラン

乗り合いのサーバではなく、仮想専用サーバをAmazonEC2の上に立てて、RCMSとセットでご提供いたします。サーバは切り離されていますが、プログラム自体は同期が取られているので、個別のセキュリティアップデート作業等は不要です。
 （仮想専用サーバプランの場合もバージョンアップや保守はディバータが実施いたします）



オンプレミス提供プラン

既に自社もしくは特定のサーバ環境をお持ちの場合は、その環境へRCMSをインストールをしてご提供いたします。

RCMS及び、搭載されているサーバはセキュリティ面においても万全の体制を維持しながらご提供しております。特にSaaS版（スタンダードプラン、仮想専用サーバプラン）の場合は多くのコストが必要となるサーバ及び、サーバ保守もプラン内に含まれているため、非常にコストパフォーマンスに優れたプランとなります。

RCMS稼働サーバ

RCMSはサーバの安定にも最大に考慮し、SaaS版でご提供する場合はAmazonEC2（東京リージョン）を利用しています。アクセスの集中への対応や、セキュリティの堅牢性はAmazonのショッピングサイトのノウハウが活用されています。この選択により安定したサーバ環境と急激なトラフィックの増加などに柔軟に対応することが可能です。



データセンター・ネットワーク

サーバは国内有数のデータセンターで365日24時間監視されており、物理的にも高度なセキュリティ対策を行っています。サーバでのウイルスチェックも完備。ファイアーウォールも設置されており、不正アクセスを防ぐIDS*なども設置されています。

*IDSとは？

Intrusion Detection Systemの略で「侵入検知システム」のことでハッカー（クラッカー）などによる不正侵入や攻撃を検出します。

セキュリティ対策について

以下の脆弱性に気をつけてシステム開発、サーバ構築を行っております。

- ✓ SQLインジェクション
- ✓ OSコマンド・インジェクション
- ✓ パス名パラメータの未チェック/ディレクトリ・トラバーサル
- ✓ セッション管理の不備
- ✓ クロスサイト・スクリプティング
- ✓ CSRF（クロスサイト・リクエスト・フォージェリ）
- ✓ HTTPヘッダ・インジェクション
- ✓ メールの第三者中継
- ✓ アクセス制御や認可制御の欠落

参考：情報処理推進機構(IPA) 安全なウェブサイトの作り方

<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>

RCMSおよび、搭載されているサーバはセキュリティ面においても万全の体制を圧倒的なコストパフォーマンスで提供します

Webサイトが企業と顧客とを繋ぐコネクターの役割を果たすべく、RCMSを活用したさまざまなマーケティング施策ができる機能をご用意しています。

オウンドメディアサイト



読み物コンテンツなど情報発信
複数ドメインを一元管理

有料会員サイト



ID、PW発行と会員グループ別
に閲覧できるページの作成

ユーザー投稿型ページ



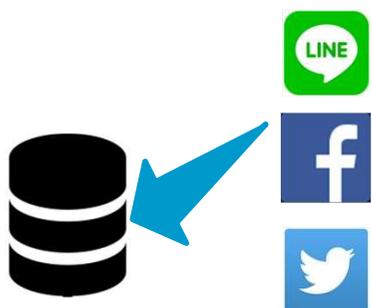
例えば知恵袋的なユーザーによ
るコンテンツ投稿を行う機能

ユーザー別メール配信



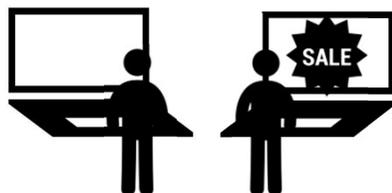
セグメント別に配信できる
一括メール配信機能

ログイン認証



Facebookなどの各SNSでの
自動ログイン認証

コンテンツ出し分け



グループによってTOPに表示される
コンテンツを切り替える

動画配信



Youtubeと独自配信動画
のハイブリッド型配信

RSS & FTP配信



メディアサイトとの連携

※実装方法によりオプションやカスタマイズになる可能性があります。

RCMSは株式会社ディバータが1から設計/構築し、今なお同社により日々進化している純国産のCMSです。

オープンソースCMSの問題点

オープンソースのCMSでは、プラグインなどである程度の拡張性は有るものの、度重なるアップデートによる不具合の発生や、逆にその部分がネックになりアップデート出来ないことでのセキュリティ面でのリスクなどデメリットも多くあります。また、大幅なカスタマイズを行うことで結局追加開発費がかかるケースもあります。

RCMSなら万全のサポート体制で安心

RCMSのSaaS版（スタンダードプラン、仮想専用サーバプラン）では株式会社ディバータによる各種サポート（メール、電話、個別レクチャー）、サーバ保守、アプリケーション保守が全てのプランに含まれており、RCMS自体のアップデートも随時提供されていきます。

アップデートの中にはセキュリティ対策はもちろん、新規の機能追加も含まれております。

インストール版ではオプションとして年間サポートをご用意させて頂き、サーバ保守、アプリケーション保守も別途ご依頼いただくことが可能となります。

カスタマイズ後も開発元がサポートを提供

RCMSのサポートは通常使用のRCMSはもちろん、機能拡張やカスタマイズを行った際にも、もちろん全て同社に委託可能です。これにより他のCMSに比べ万全のサポート体制をご提供できると自負しております。

純国産のCMSだからこそ、開発元による万全のサポートを提供可能です

SEOの内部施策としての基本的な設定は管理画面から行って頂けます。
また生成されるソースコードは検索エンジンからクロールされやすく考慮されているCMSです。

META情報を設定

RCMSではサイト全体、ページごと、記事ごとにMETA情報を設定することができます。

サイト全体の設定

- ・サイトTITLEにサブ文言の設定
- ・ディスクリプションの設定
- ・キーワードの設定

ページごとの設定

- ・METAタイトル
- ・META説明文
- ・METAキーワード

記事ごとの設定

- ・キーワードの設定
- ・ディスクリプションの設定

※画像参照



sitemap.xml自動作成

RCMSではsitemap.xml を自動で作成できます。

なお、sitemap.xmlは1日に一度、夜中～朝方に更新されます。
手動でファイルをアップロードした場合も、更新のタイミングにあわせて反映されるような仕組みになっていますので、日中に何度アップロードしても更新されるのは一日に一度となります。

なお、手動で更新された場合でも実際に反映されるまでにはタイムラグが生じますので予めご了承ください。

Google Analytics タグ埋め込み

RCMSではアクセス解析のために、GoogleAnalyticsのコードを自動で埋め込むための、『GoogleAnalyticsモジュール』を用意しております。



Googleの推奨するSEO内部施策を実施しやすい機能により、
検索エンジンからクロールされやすく、インデックスされやすいサイトを構築することが可能です。

文書の一部或いは全てについて、株式会社ディバータ から許諾を得ずに、
いかなる方法においても無断で複写、複製、転記、
転載、ノウハウの使用、企業秘密の開示等を行うことは、禁じます。

●お問い合わせ



株式会社ディバータ

RCMS事業部 営業チーム

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ6階

[TEL] 03-3267-3900

[FAX] 03-3267-3863

[Email] business@diverta.co.jp

